

# **CLUSTERPRO** **MC StorageSaver 2.0 for Windows**

間欠障害監視機能

インストールガイド

© 2015 (Mar) NEC Corporation

- ☐ はじめに
- ☐ 製品導入の事前準備
- ☐ 本製品のインストール
- ☐ 本製品の初期設定
- ☐ 本製品のアンインストール
- ☐ 注意・制限事項

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2015.3	新規作成

## はしがき

本書では、CLUSTERPRO MC StorageSaver 2.0 for Windows（以後 StorageSaver と記載します）の間欠障害監視機能のインストール方法および初期設定手順について説明します。

### （１） 商標および登録商標

- ✓ Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ Windows Server 2008 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 です。
- ✓ Windows Server 2008 R2 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 R2 です。
- ✓ Windows Server 2012 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2012 です。
- ✓ EMC、Symmetrix、CLARiX、VNX、PowerPath は EMC Corporation の商標または登録商標です。
- ✓ CLUSTERPRO X は日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ この製品には Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェア (log4net) が含まれています。著作権、所有権の詳細につきましては、StorageSaver をインストール後、以下の LICENSE ファイルを参照してください。  
【インストールフォルダ】¥HA¥StorageSaver¥bin¥LICENSE.txt
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

# 目次

1. はじめに.....	1
2. 製品導入の事前準備.....	2
2.1. 準備するもの .....	2
2.2. 動作要件.....	3
3. 本製品のインストール .....	4
3.1. インストール.....	4
3.2. インストール後の確認.....	9
3.3. ファイル構成 .....	11
4. 本製品の初期設定.....	11
5. 本製品のアンインストール .....	12
5.1. ファイルのバックアップ .....	12
5.2. アンインストール.....	13
6. 注意・制限事項.....	15
6.1. 注意事項.....	15
6.2. 制限事項.....	15

## 1. はじめに

本書は、StorageSaver のインストールおよびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とします。

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
『』	画面名の前後	『プログラムと機能』が表示されます。
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC StorageSaver 2.0 for Windows インストールガイド」を参照してください。 「9. メッセージ一覧」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダ名の前後	【インストールフォルダ】¥HA¥StorageSaver¥conf¥srg.config
[ ]	項目名の前後	[プログラムと機能] を選択してください。
斜体、太字	ボタン名	<b>OK</b> を押してください。

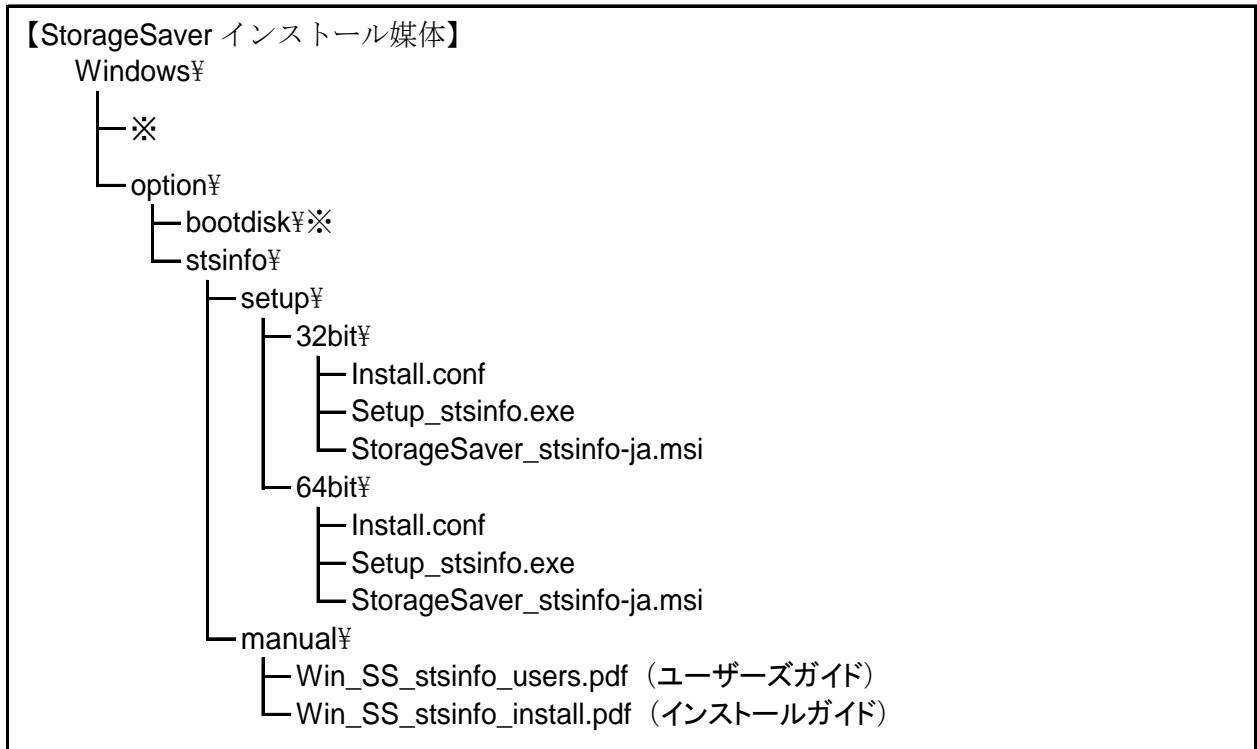
## 2. 製品導入の事前準備

### 2.1. 準備するもの

本製品が含まれるインストール媒体を用意してください。

本製品のインストーラおよび各コンポーネントが、次のとおりインストール媒体に収録されていることを確認してください。

・インストール媒体の構成図



※ option 配下以外の構成は、「MC CLUSTERPRO StorageSaver 2.0 for Windows インストールガイド」を参照してください。

※ bootdisk 配下の構成は、「MC CLUSTERPRO StorageSaver for BootDisk 2.0 (for Windows) インストールガイド」を参照してください。

## 2.2. 動作要件

### (1) ソフトウェア要件

本製品を利用するには、事前に **StorageSaver** が導入されている必要があります。

(StorageSaver は製品のバージョン 2.0 以上が必要です)

本製品単体では間欠障害監視機能は利用できませんのでご注意ください。

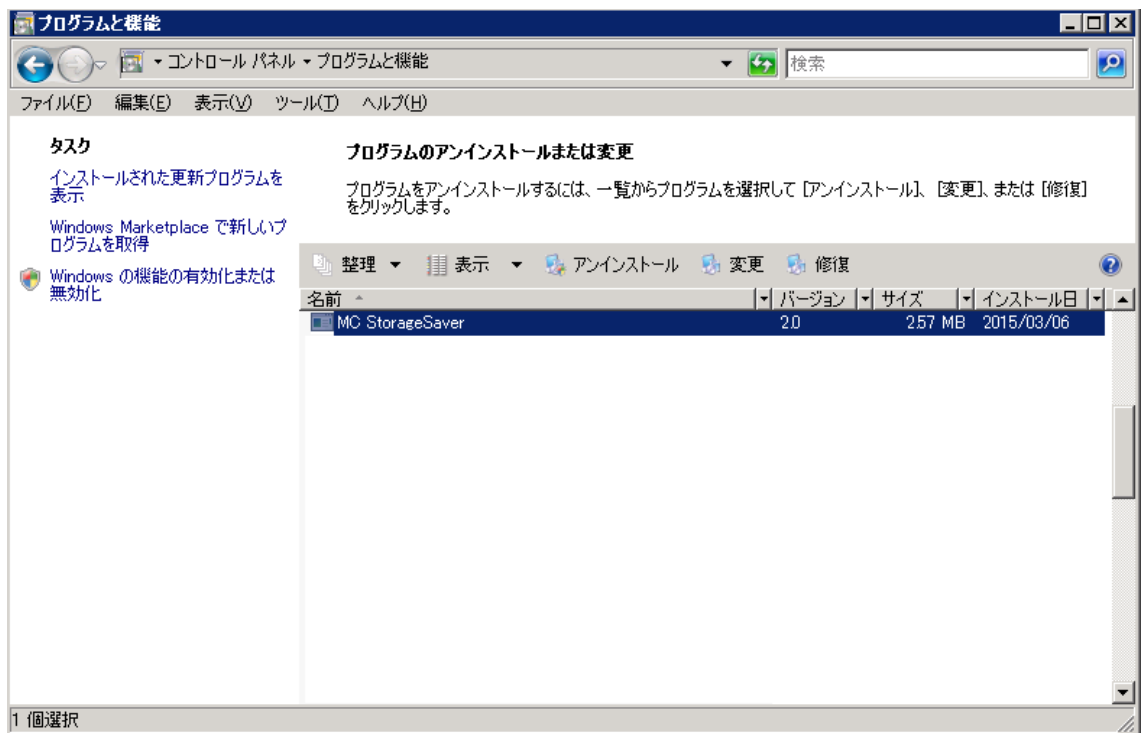
本製品を導入する前に、**StorageSaver** が導入されていることを確認してください。

#### ● インストールの有無を確認する

[ スタート ] メニュー — [ コントロール パネル ] — [ プログラムと機能 ]

上記手順により、『プログラムと機能』を表示します。

一覧に [ MC StorageSaver ] が登録されていることを確認してください。



### 3. 本製品のインストール

#### 3.1. インストール

本製品のインストール手順について説明します。

---

注意 ・インストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。

---

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 【Setup.exe】を実行してください。  
※【Setup.exe】の所在については、「2.1.準備するもの」のインストール媒体の構成図を参照してください。32ビット OS と 64ビット OS では使用する【Setup.exe】が異なりますので、ご使用の OS にしたがって選択してください。

実行すると下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。

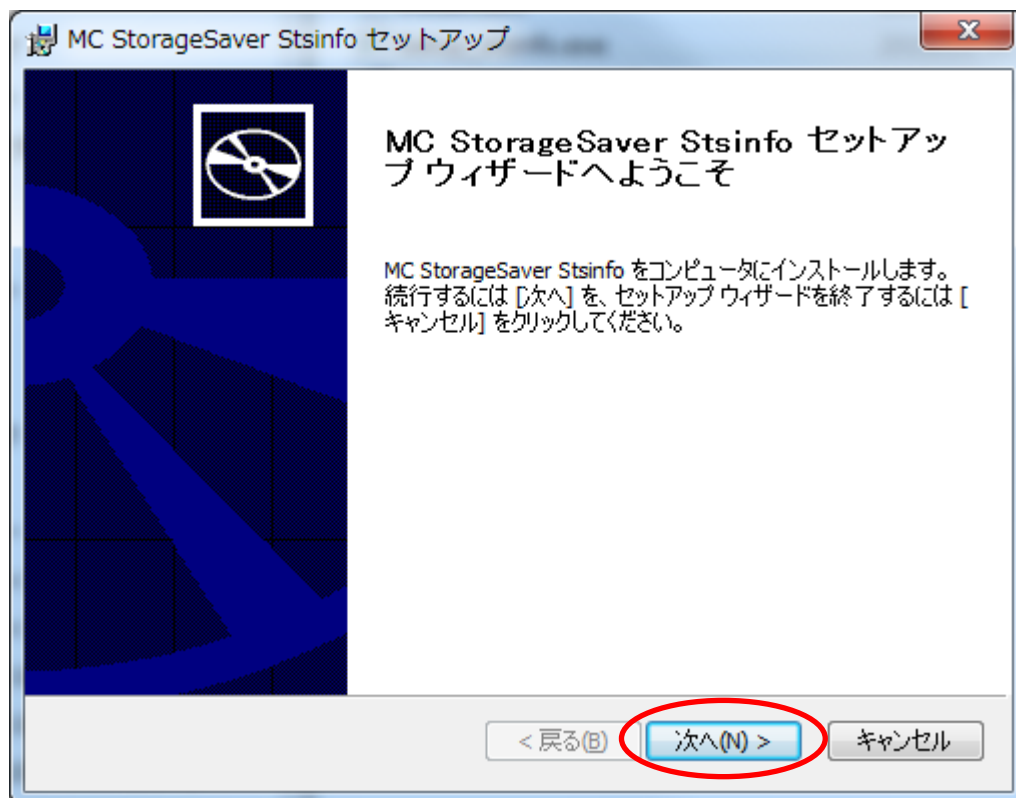


図 4 インストーラ準備画面



- (3) インストール先のフォルダを指定します。  
指定したフォルダ配下に “HA¥StorageSaver” フォルダが作成され、  
各ファイルがそのフォルダにインストールされます。  
デフォルトのインストール先フォルダは、Windows がインストールされているドライブ  
(%WINDIR%) の Program Files フォルダ、通常は “C:¥Program Files” です。  
デフォルトの設定でインストールする場合は、**次へ(N)** を押してください。

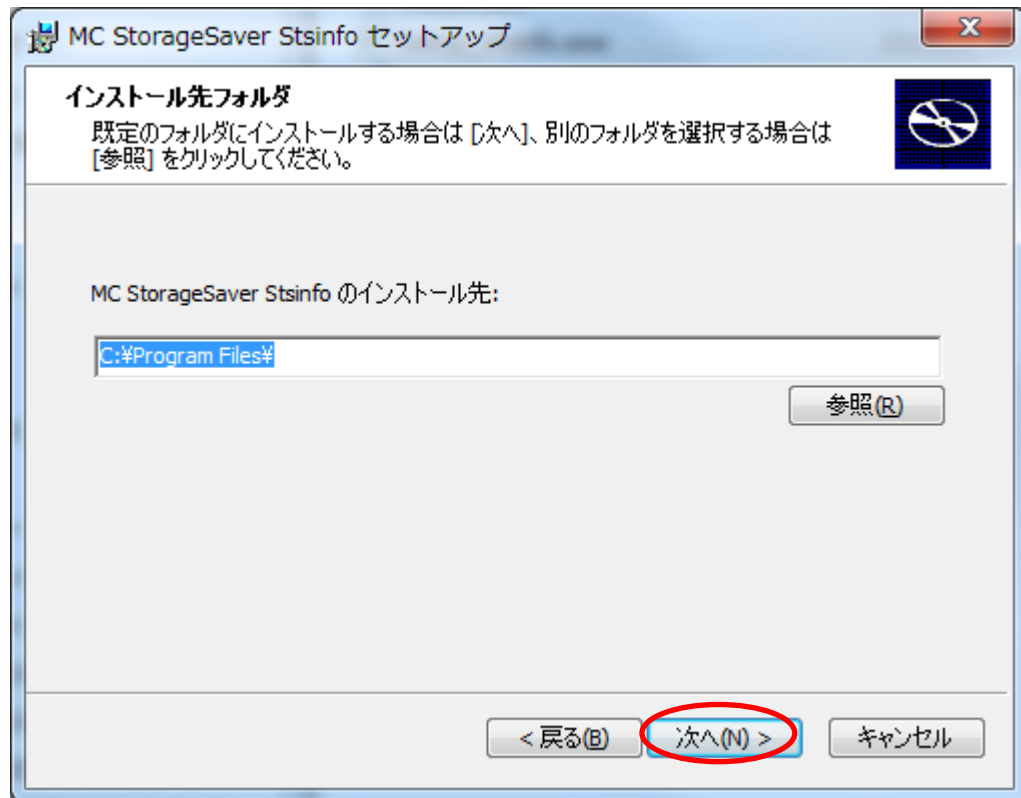


図5 インストール先のフォルダ表示画面

インストール先を変更する場合は、直接インストール先を入力するか **参照(R)** を押してください。  
**参照(R)** を押した場合、下記画面が表示されます。  
インストールするフォルダを入力もしくは選択して、**OK** を押してください。

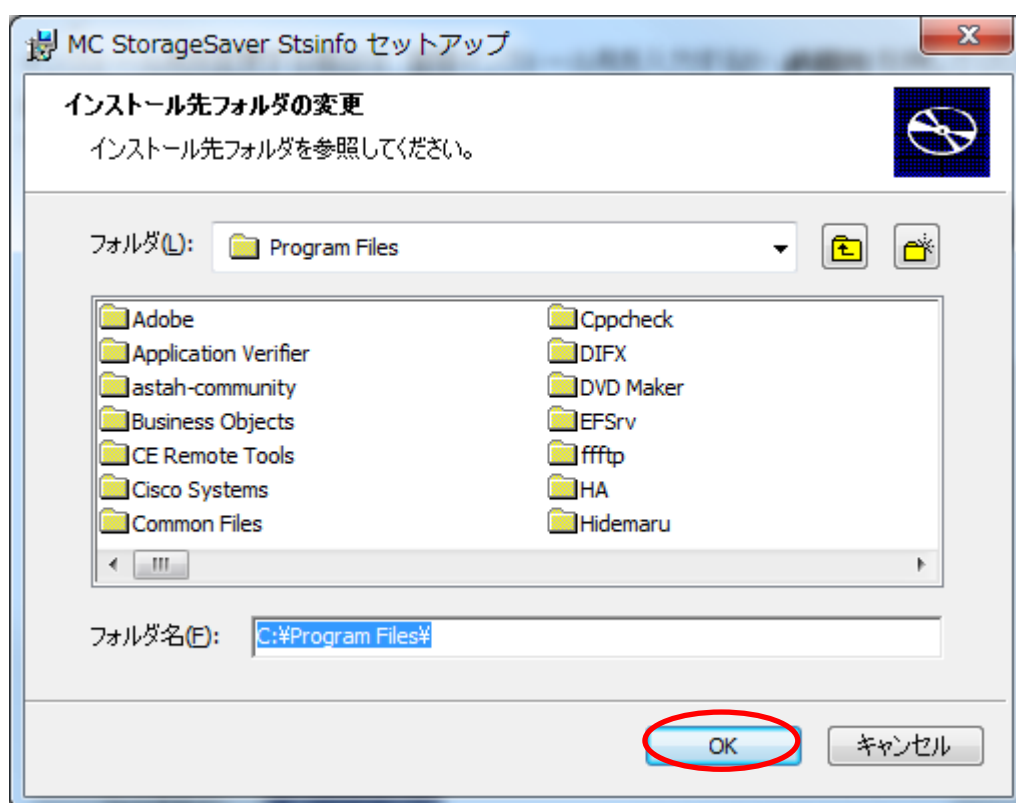


図6 インストール先のフォルダ変更画面

---

**注意** インストール先のフォルダには、ネットワークドライブ上のフォルダは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダを指定してください。

---

- (4) **インストール(I)** を押してインストールを開始してください。

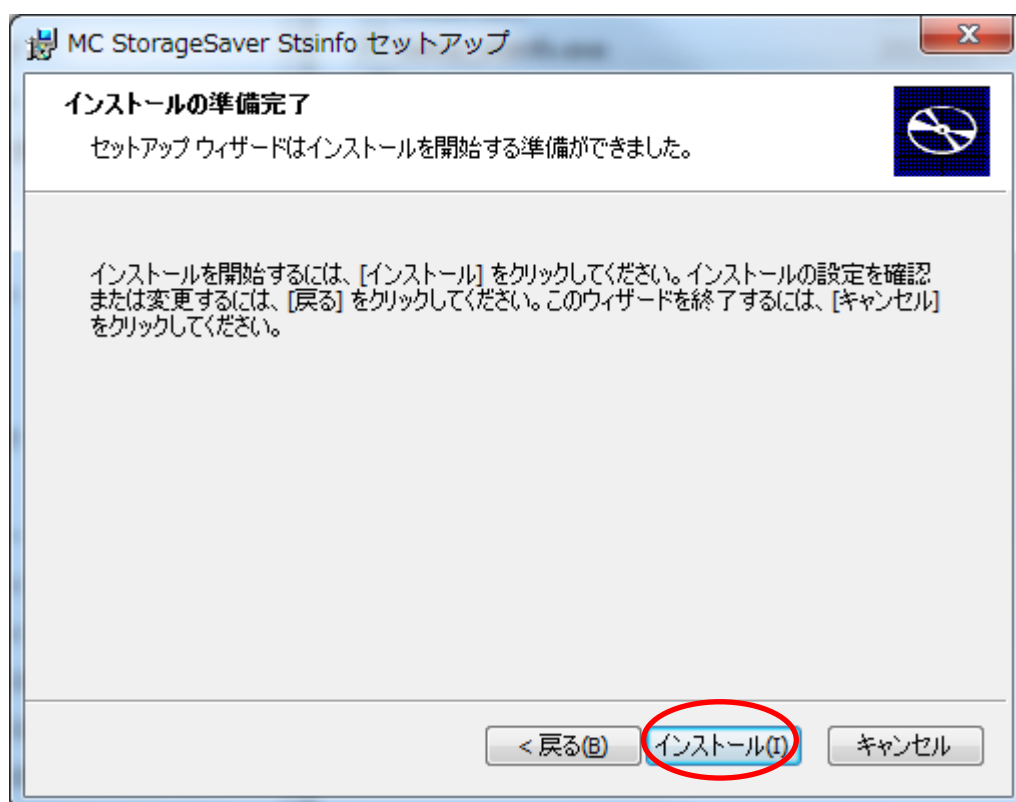


図7 インストール開始画面

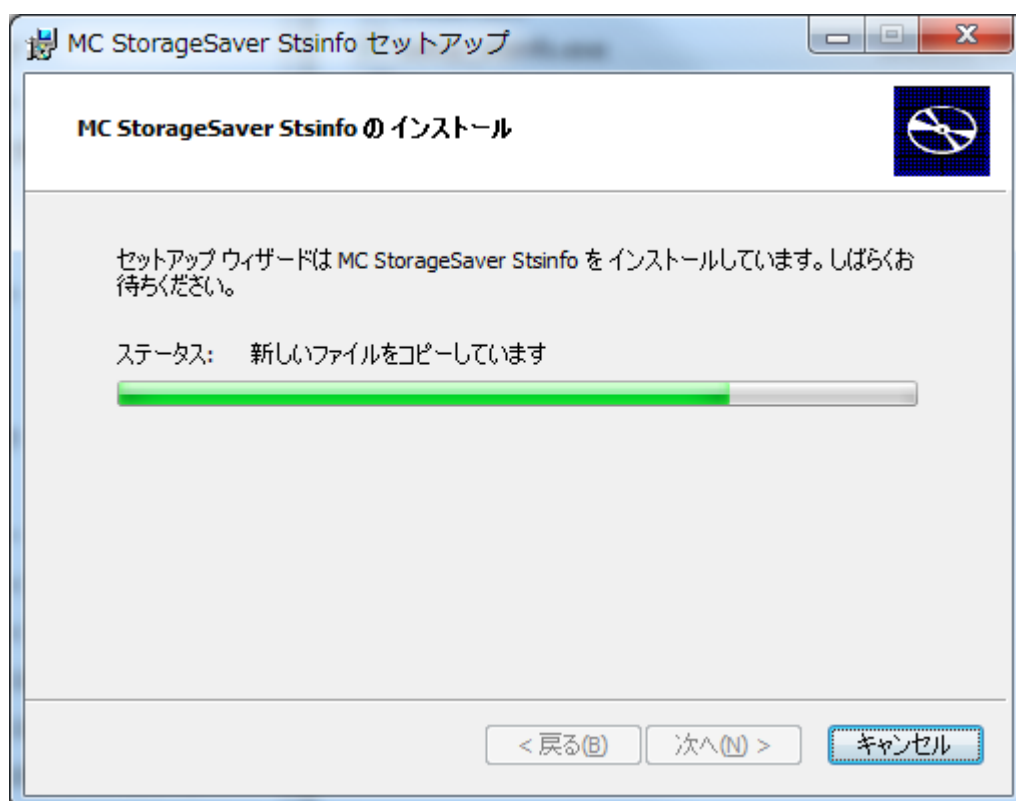


図8 インストール中の状態

- (5) 本製品のインストールが完了し、下記画面が表示されます。  
**完了(F)** を押して【Setup.exe】を終了してください。

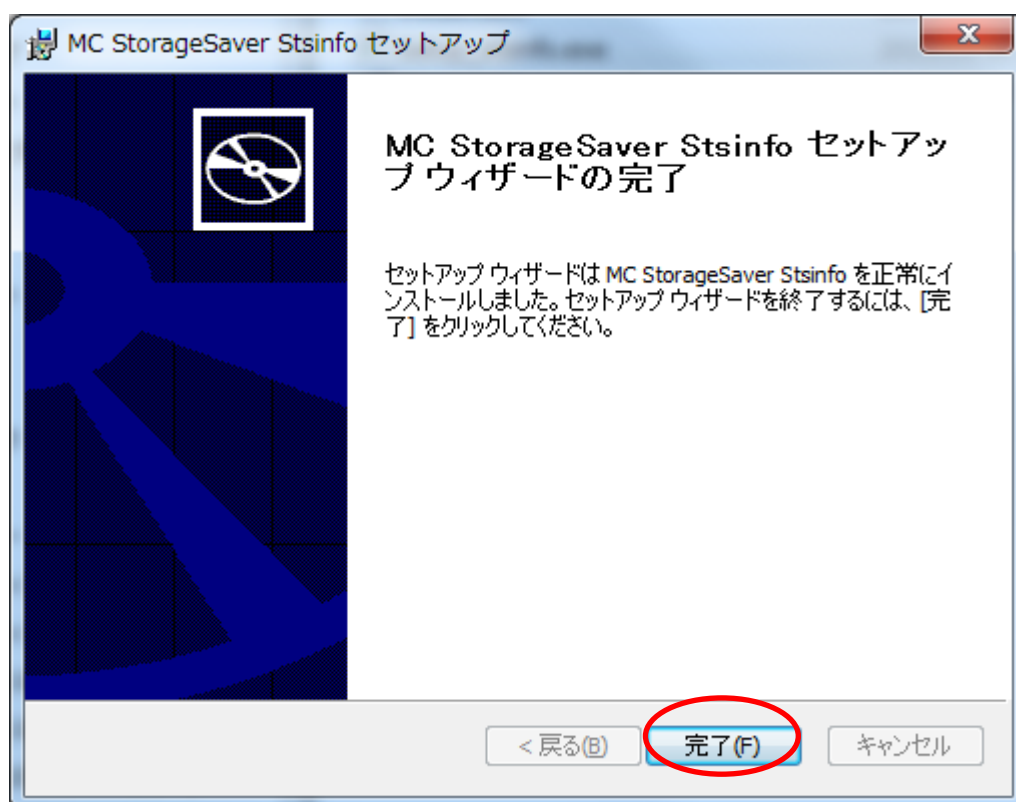


図9 インストール完了画面

以上で、本製品のインストールは終了です。

### 3.2. インストール後の確認

- (1) 『プログラムと機能』で本製品がインストールされていることを確認してください。

[ スタート ] メニュー — [ コントロール パネル ] — [ プログラムと機能 ]

上記手順により、『プログラムと機能』を表示します。

一覧に [ MC StorageSaver Stsinfo ] が登録されていることを確認してください。

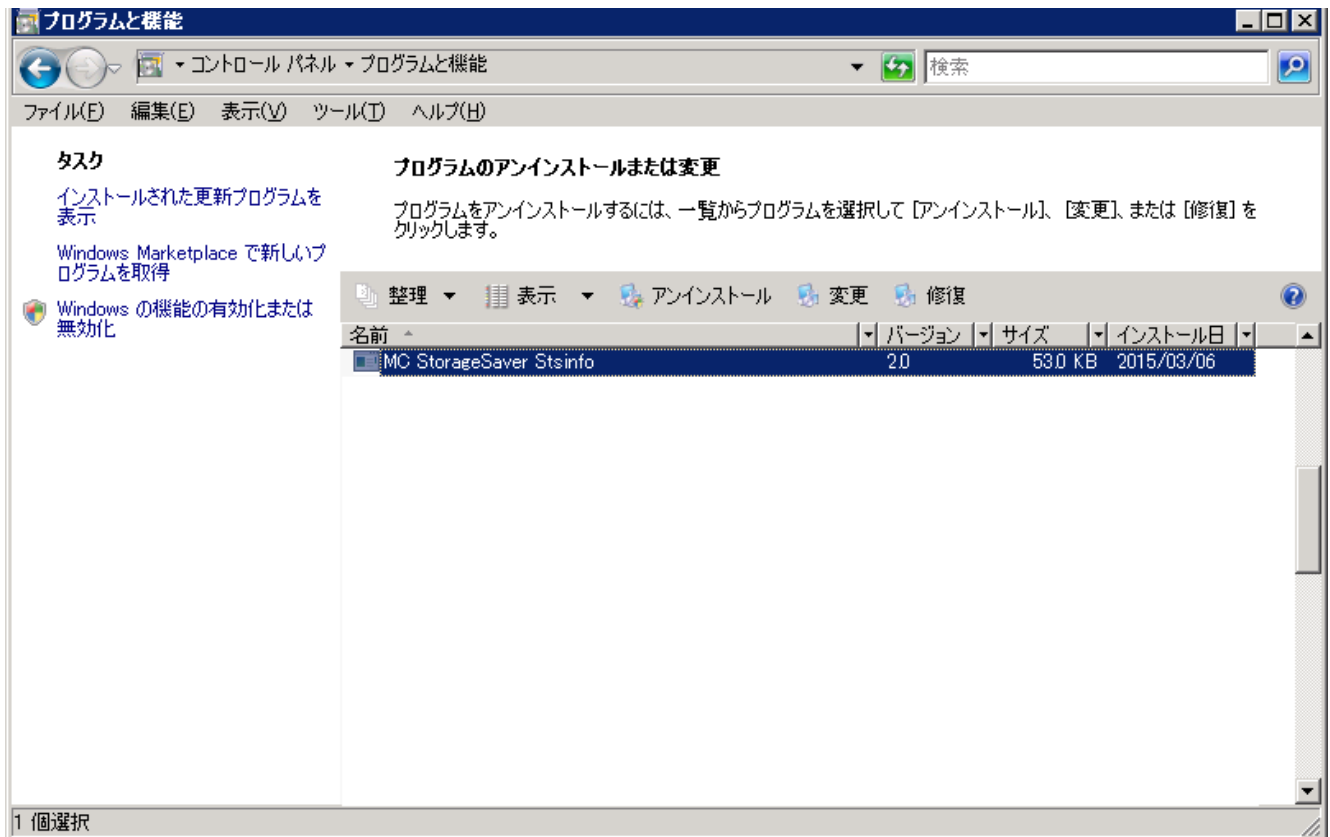


図 10 『プログラムと機能』

(2) 『サービス』に本製品のサービスが登録されていることを確認してください。

[ スタート ] メニュー – [ コントロール パネル ] – [ 管理ツール ] – [ サービス ]

上記手順により、『サービス』を表示します。『サービス』で表示される内容が下記と同じことを確認してください。

- ・ [ 名前 ]: [ HA StorageSaver Stsinfo ]
- ・ [ スタートアップの種類 ] :[ 自動 ]

---

**注意** インストール直後には、サービスを自動起動しません。設定ファイルの設定後、個別にサービスを起動してください。  
設定ファイルの設定やサービスの起動については、「CLUSTERPRO MC StorageSaver 2.0 for Windows 間欠障害監視機能ユーザズガイド」を参照してください。

---

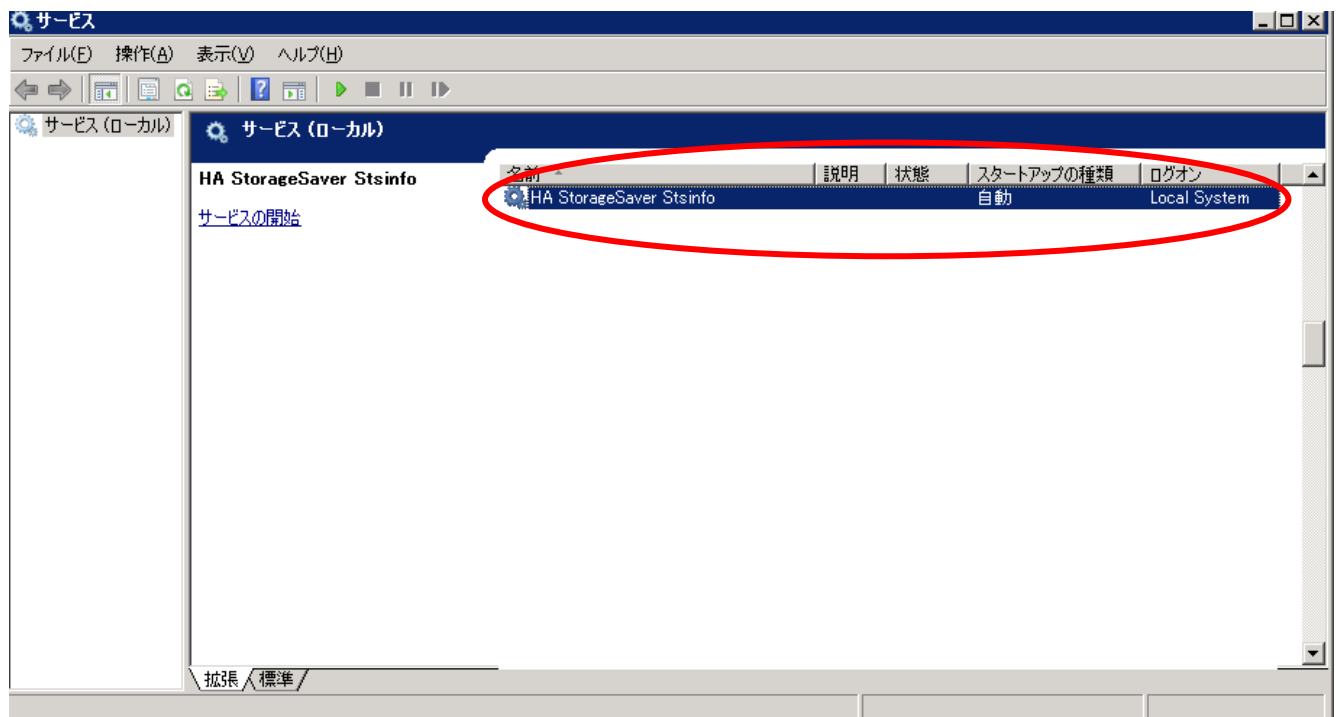
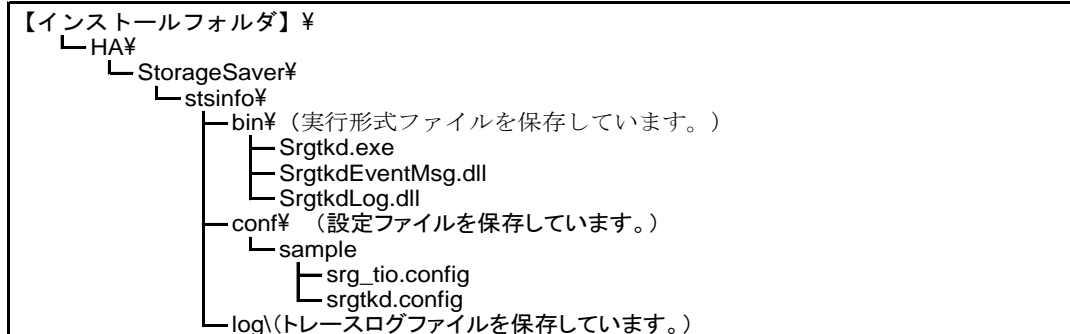


図 11 『サービス』

### 3.3. ファイル構成

下記のとおり本製品がインストールされていることを確認してください。

※【インストールフォルダ】のデフォルトパスは、"C:¥Program Files" です。



## 4. 本製品の初期設定

「CLUSTERPRO MC StorageSaver 2.0 for Windows 間欠障害監視機能 ユーザーズガイド」を参照してください。

## 5. 本製品のアンインストール

### 5.1. ファイルのバックアップ

設定ファイルやログファイルが必要な場合は、事前にバックアップしてください。  
バックアップ対象のパスは下記のとおりです。

設定／ログファイル

【インストールフォルダ】¥HA¥StorageSaver¥stsinfo 配下

- conf

設定ファイルを保存しています。

- log

トレースログファイルを保存しています。

※【インストールフォルダ】のデフォルトパスは、“C:¥Program Files” です。

---

補足    インストール後に作成されたフォルダやファイルは削除されません。

---



## 5.2. アンインストール

本製品のアンインストール手順について説明します。

---

**注意** ・アンインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。

---

- (1) 本製品を起動している場合は、本製品のサービスを停止してください。
- (2) 下記手順により本製品のアンインストールを行います。  
[ スタート ] メニュー – [ コントロール パネル ] – [ プログラムと機能 ] を選択してください。
- (3) 『プログラムと機能』が表示されますので、[ MC StorageSaver ] を選択し、**アンインストール** ボタンを押してください。

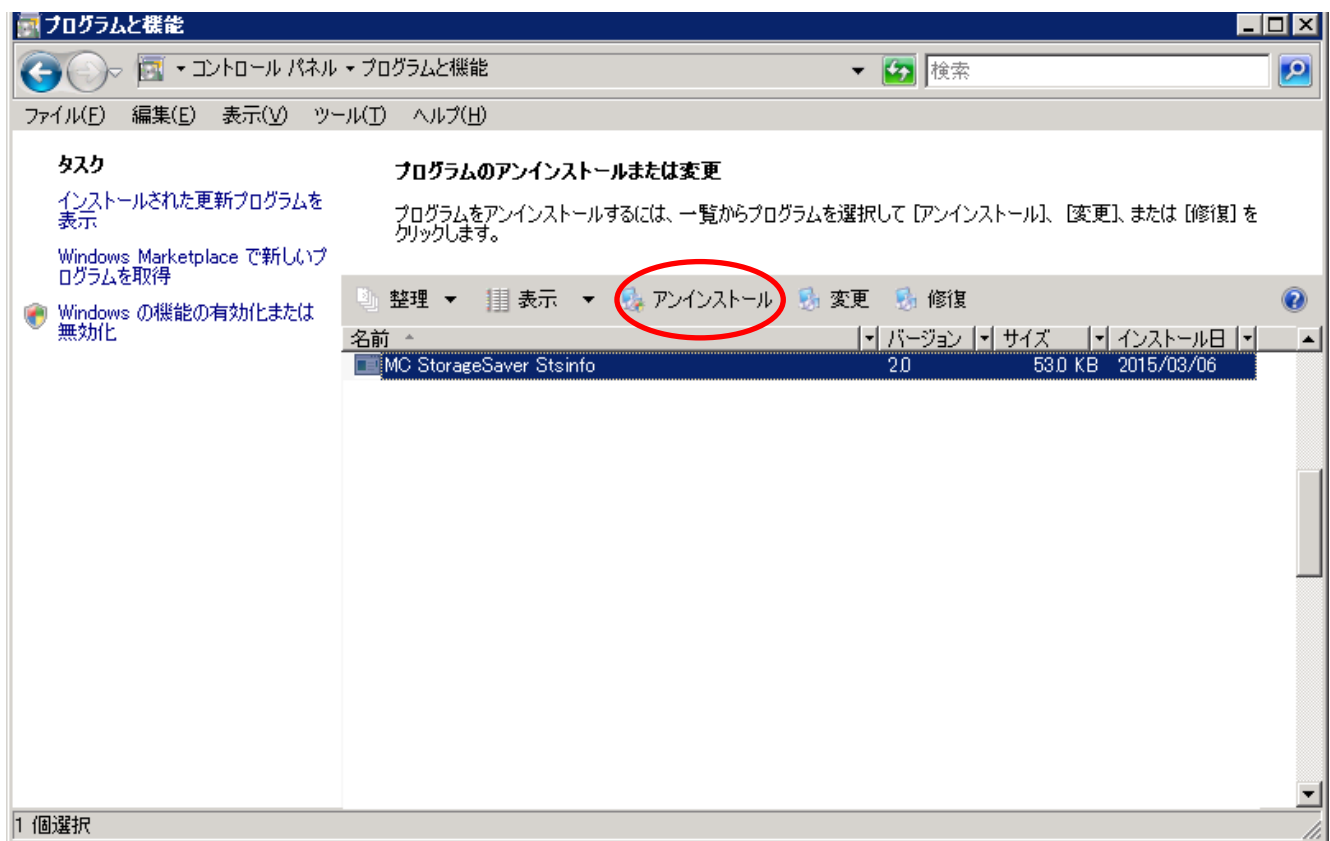


図 12 『プログラムと機能』

- (4) **アンインストール** ボタンを押すと下記画面が表示される場合があります。  
**はい(Y)** を押すと本製品のアンインストールが開始されます。

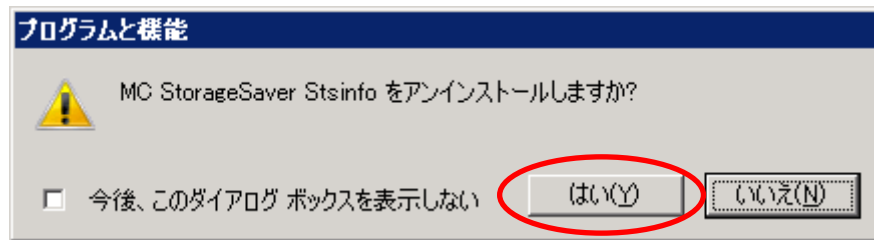


図 13 削除確認画面

- (5) 不要なファイルを削除します。  
アンインストールにより削除されるのは、インストール時に作成されたフォルダおよびファイルのみです。  
設定ファイル・ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。  
これらのファイル(インストールフォルダ配下) が不要な場合は、削除してください。

以上で、本製品のアンインストールは終了です。

## 6. 注意・制限事項

### 6.1. 注意事項

- インストールおよびアンインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
- インストール先のフォルダにはネットワークドライブ上のフォルダを指定できません。  
必ずローカルドライブ上のフォルダを指定してください。
- インストール後、本製品のサービスは自動で起動しません。設定ファイルの設定後、個別に起動してください。
- アンインストールを開始する前に、本製品のサービスを終了させてください。
- インストール後に編集したファイルは、アンインストール時には削除されません。  
不要な場合は、アンインストール後、別途削除してください。
- 『サービス』を表示したまま本製品のアンインストールを行うと、まれに [HA StorageSaver stsinfo] サービスが削除されない場合があります。最新の状態に更新を行っても削除されない場合は、コンピュータを再起動してください。
- 本製品単体では間欠障害監視機能は利用できませんので、本製品を導入する前に、StorageSaver が導入されていることを確認してください。

### 6.2. 制限事項

なし

CLUSTERPRO  
MC StorageSaver 2.0 for Windows  
間欠障害監視機能  
インストールガイド

2015 年 3 月 第 1 版  
日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号  
TEL (03) 3454-1111 (代表)



© NEC Corporation 2015

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。  
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙